

## 経営情報学会 2015 年秋季全国研究発表大会

大会実行委員長 高木俊雄  
沖縄大学法経学部

2015年11月28日(土)、29日(日)の両日において、経営情報学会2015年秋季全国研究発表大会が、沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)で開催されました。沖縄コンベンションセンターは、劇場棟、展示棟、会議棟からなり、参加者1,000人を超える国際学会、芸能人のコンサート、モーターショー等が開催される沖縄県を代表するコンベンション施設となっております。またコンベンションセンター周辺には、本大会参加者に対し特別な配慮をいただいたラグナガーデンホテルや、東シナ海に沈む太陽が美しいトロピカルビーチが存在します。

このような充実した施設での開催であり、また大会に対する会員各位の情熱や協力により、本大会では発表件数139件、大会参加者約300名という近年まれに見る数となりました。まずは会員各位、後援や協力いただいた企業・団体、基調講演者および特別講演者、大会実行委員、プログラム委員、そして大会運営学生および院生に記して感謝いたします。

本稿では、この2日間の大会を写真とともに振り返ってみたいと思います。

### 1. 大会テーマと基調・特別講演

本大会では、大会テーマを「アジアのハブとしての沖縄：情報通信産業の新たなフェーズ」とし、沖縄県におけるIT産業の発展と今後の展開について基調講演者である牧野守邦氏(内閣府沖縄総合事務局)および特別講演者である比屋根隆氏(株式会社レキサス)にお話しいただきました。

牧野氏は、「沖縄のIT産業の現状と将来について」というタイトルで、沖縄県の産業特性、IT産業を取り巻く環境、そして今後の展開についてお話しくださいました。また、比屋根氏は「沖縄で切り拓

くITビジネスの可能性と未来人材の育成について」というタイトルで、主に将来の沖縄のICTを支える中・高・大学生に対し積極的に支援し支える「琉球フロッグス(Ryukyufrogs)」の取り組みについてご講演くださいました。

なお、基調講演および特別講演(そして一部の特設研究部会)では、経営情報学会会員ならびに協賛学会会員のみでなく、一般市民も無料で参加可能な公開講座として設定いたしました。



内閣府沖縄総合事務局 牧野守邦氏



株式会社レキサス 比屋根隆氏

## 2. ポスターセッション

本大会では、ポスターセッション 39 件と非常に多くの院生や学生の皆様に発表していただきました。また当日は活発な発表をいただくことができました。

なお、これほど多くの申し込みを大会委員会では想定していなかったため、2会場同時進行という変則的な形式となり、また、そのうちの一つはホワイエ（ロビー）でも開催することとなりました。そのため発表者にはご不便をおかけしてしまったかもしれません。また、審査委員の先生も急遽お願いすることになってしまいました。これらの点について、お詫び申し上げます。



学生発表優秀賞（ポスターセッション）

## 3. 開会式、表彰式、感謝状贈呈

沖縄県立大学大学院生による琉球舞踊「松竹梅」での歓迎の後、大会委員長による開会挨拶があり、そして学会賞および AIS 奨励賞の表彰、前回大会の実行委員である日本大学柴直樹氏への感謝状贈呈が行われました。



琉球舞踊：松竹梅

## 4. 特設研究部会、オーガナイズド・セッション（OS）、口頭発表

本大会では、例年実施している特設研究部会および口頭発表のほかに、興味関心を共有する会員による共同発表である OS（90分または120分枠）を設定いたしました。また、この特設研究部会の一つである「沖縄の産業振興と IT 経営」は公開講座とし、沖縄県内在住で本テーマに関心を持つ方々にもお越しいただきました。

なお、特設研究部会、OS も含めた申し込み件数は 99 件となり、最大 9 会場でのパラレルセッションとなりました。

## 5. 懇親会

懇親会は 11 月 28 日（土）夕刻から開催されました。今回は沖縄らしさを会員の皆様に味わっていただくため、沖縄コンベンションセンターに隣接するトロピカルビーチでバーベキューパーティを実施いたしました。また、懇親会では、沖縄大学エイサー部によるエイサーの演舞が行われ、多くの方々に楽しんでいただきました。



懇親会の様子

以上のとおり、2 日間にわたる大会は、盛会のもと無事終了しました。繰り返しとなりますが、関係各位のご尽力とご協力に心より感謝申し上げます。